

G3 のツイッター その 18

烈剛河内 竹井 保満

スポーツ・芸術・食欲と、秋は多忙な季節です。

スポーツ、昨年の全日本投擲 5 種大会では、時ならぬ寒さで力を出し切れず涙をのみました。今年は金メダルをと闘志だけは燃えておりますが、取らぬ狸の何とかに終わらないように頑張るつもりで金沢に行きます。

芸術ですが、10 月の下旬に美術協会展に出展するため、30 号の日本画を制作中です。

最近では風景や静物画などはやめて、話題に成った事柄や、風刺画を描くことにしています。

今回は、戦後七十年問題、安保、オリンピックなど、国内外の大きな問題を審議している国会議事堂と、斑猫の組み合わせです。まだらな猫ではありません。(ハンミョウ) と読み、綺麗で獰猛な昆虫です。一般には(道おしえ)と言ひ、田舎道や山道を歩いていると、人の先に先にと走っては立ち止まります。それが恰も道を教えているようで、ミチオシエと呼んでいます。

絵には、題名が要ります。国会議事堂とするか、斑猫にするか、英語名にするか？

英語名では国会議事堂は、the diet building で、斑猫は tiger beetle です。国会のダイエットは、一日の食事と同じスプリングですので、やめました。斑猫はタイガーの甲虫で、阪神タイガースをイメージするのでこれも止めました。

読みにくく判り難いですが、画題は、斑猫とし(ミチオシエ)とルビを振る事にしました。斑猫さん、国の内外に燦たる国会に導いてくれることを祈ります。

さて、食欲の秋も近いですが、食べる物にかなり気を使っていますが、58 キロの体重が中々 60 キロに戻りません。9 月に入っても残暑が厳しく、つつい淡白な冷たい素麺やお茶漬けになりがちです。気温も 25 度前後まで下がれば、本来の意味の diet 一日しっかり食べます。旬の魚や、鶏肉や豚肉を食べて、逞しい爺さんに戻りたいと思っています。

先月シベリヤ抑留、90 歳の語り部をと書きましたところ、色々な方から今聞きたい、今書けとの事でしたが、書くとなると、日露戦争で日本は怪我をした捕虜の中で、もう戦えないと判断した兵士には治療して送り返し、元気な捕虜にも日本軍と同じ待遇を与えました。人間愛的な行為の日露戦争から始めなければなりません。

今回の侵攻では、ハーグ陸戦法規で決められた戦利品は武器弾薬と動産以外は認められていないにも拘らず、火事場泥棒どころではなく、自分で火をつけて強盗殺人を行い、手当たり次第に役に立つものは、一年間に全て自国に持ち帰り、武器弾薬類は日本軍と戦った中国の蒋介石軍には渡さず、その頃はお粗末な兵器しかなかった八路軍(今の共産軍)に全部渡し、八路軍を中国内戦に勝利させました。

ですから、本年 9 月 3 日の天安門広場で抗日戦勝記念はお笑い草です。終戦による停戦命令を、中国の戦線で負けていないに日本軍将兵の説得に難儀したのは、承知のことです。

思想や恨み辛みが入れば、本誌パワー・ワールド・ニュースに相応しくありませんし、90 歳までに終了しないでしょう。

爺さんの戯言ではなく、真剣な話です。